

岡安証券

= 注目・外株銘柄 =

(2025年8月)

【米国市場・20銘柄掲載】

<新規>

P1【仮想通貨】 コインベース・グローバル (COIN)

P2【ITサービス】 IBM (IBM)

<継続>

P3【マグニフィセント7】 エヌビディア (NVDA)

P4【マグニフィセント7】 マイクロソフト (MSFT)

P5【マグニフィセント7】 アップル (AAPL)

P6【マグニフィセント7】 アルファベット (GOOGL)

P7【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム (AMZN)

P8【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ (META)

P9【マグニフィセント7】 テスラ (TSLA)

P10【半導体】 台湾セミコンダクターADR (TSM)

P11【半導体】 ブロードコム (AVGO)

P12【ソフトウェア】 オラクル (ORCL)

P13【通信機器】 アリスタ・ネットワークス (ANET)

P14【動画配信】 ネットフリックス (NFLX)

P15【航空・防衛】 RTX (RTX)

P16【データ解析】 パランティア・テクノロジーズ (PLTR)

P17【電力設備】 GEベルノバ (GEV)

P18【公益】 ビストラ (VST)

P19【金融】 JPモルガン・チェース (JPM)

P20【製薬】 ファイザー (PFE)

(株価データ、株価指標は現地2025年7月30日現在)

<新規>

米国最大の暗号資産取引所の運営企業

長年の連続増配実績を持つIT業界の老舗企業

<継続>

時価総額トップとなった、画像処理半導体 (GPU) 開発企業

ソフトウェア世界最大手

デジタルIT機器の設計・販売大手

インターネット検索世界最大手

インターネット小売世界最大手

SNS運営世界最大手

米電気自動車 (EV) 大手

半導体受託製造の世界最大手

企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手

データ管理ソフト世界最大手、クラウド市場で大躍進

大規模データセンター用ネットワーク機器世界大手

動画配信の世界最大手

航空宇宙・防衛まで手掛ける巨大コングロマリット

防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供

テキサス州拠点の電力会社、M&Aを通じて原発大手に変貌

GEから分離した電力設備の世界大手

総合金融サービス最大手

コスト削減計画を推進中の米製薬大手

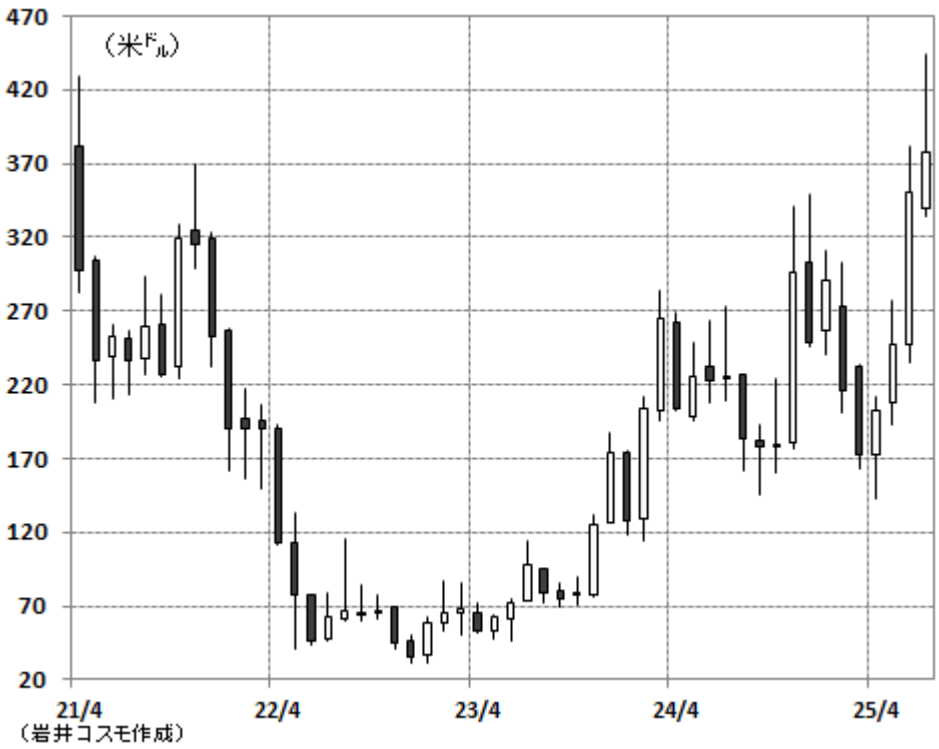
会社概要

2012年設立の米国最大の暗号資産取引所を運営企業。個人・機関投資家にビットコインなど多様な暗号資産の取引を提供する。ユーザー数の獲得強化や取扱うデジタル資産の多様化、グローバル展開を加速し、規制対応やセキュリティ強化にも注力する。本社はニューヨーク、2021年4月にナスダックに直接上場(公募・売出しなし)、2025年5月に仮想通貨関連銘柄として初めてS&P500指数に採用された。

注目ポイント

□**収益の多角化が進展中**: 取引手数料への依存体質からの脱却し収益の多角化を推進中である。定額制有料会員やカスタムサービス等の拡大を企図。高頻度売買を好む投資家向けの月額サブスクリプション会員数は60万人、年間取引高は1兆ドルを突破、米国のビットコインETF解禁を受け24年末のETF資産預かり残高は932億ドルに達した。

□**「ステーブルコインUSDC」の普及でも恩恵**: 1米ドルと同じ価値のデジタル通貨「ステーブルコイン」の発行企業サークル社と共同で、同コインの「USDC」の普及に携わった経緯があり、「USDC」発行準備金から生じる利息収入の一部を受領する関係にある。



株 価 チ ャ ー ト (上場来・月足)								
通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	3,108	-3	-162	赤継	95	黒転	0.37	0.00
2024/12	6,564	111	2,307	黒転	2,579	27倍	9.48	0.00
四半期業績								
2024/Q1	1,638	—	760	—	1,176	—	4.40	0.00
2025/Q1	2,034	24	706	-7	66	-94	0.24	0.00

株価データ		株価指標 (バリュエーション)	
株 価 (米ドル)	377.48 (07/30)	実績PER	37.8 (倍)
52週高値 (日付)	444.59 (25/07/18)	株価売上高比率	13.6 (倍)
52週安値 (日付)	142.585 (25/04/07)	PBR	9.2 (倍)
時 価 総 額	961億ドル 14兆3,748億円	税前配当利回り (%)	無配 (直近年率)
株価変化率 (%)	29.6 (過去6ヶ月間) 68.2 (過去1年間)	配当成長率 (%)	— (過去1年間)
		株主資本利益率 (ROE)	15.8 (%)
		株式ベータ	2.11 (対S&P500)

IT(情報技術)業界の老舗 融合型クラウドやAI分野で収益基盤を再構築

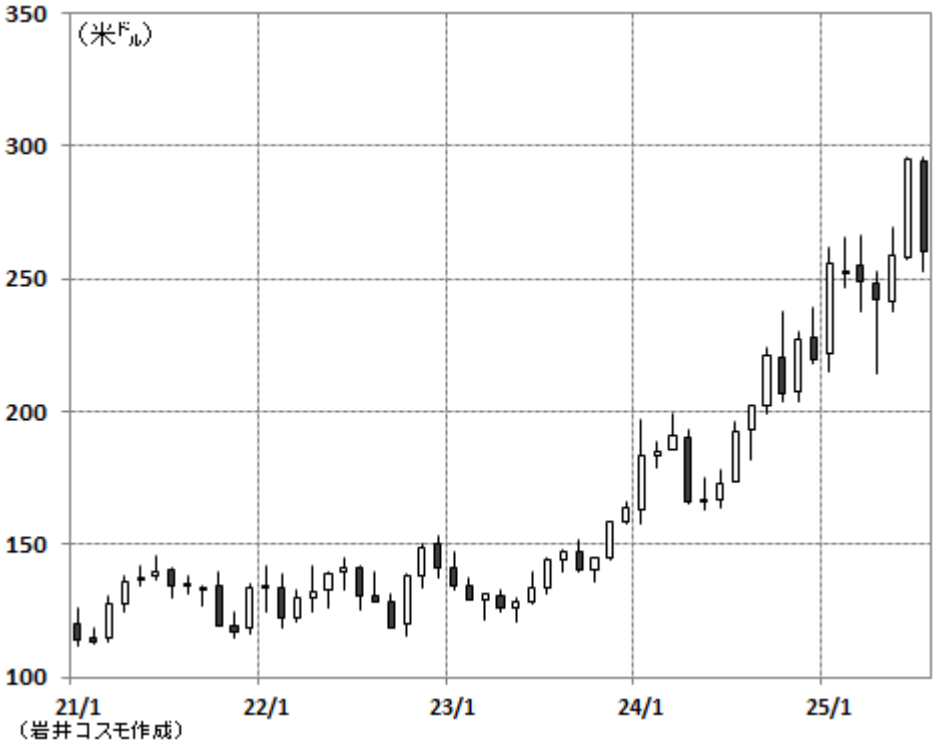
会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピューターサービス大手。米国特許の取得件数の年間ランキングで上位の常連組。1960～70年代にメインフレーム(大型汎用コンピューター)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだものの、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント

ハイブリッドクラウドとAIを強化：2019年にオープンソースソフト大手レッドハットを買収後、ITインフラ事業を分社化し、自社運用とクラウドを融合した「ハイブリッドクラウド」とAI分野へ経営資源を集中。また日本の次世代半導体企業ルピダスへの技術供与も行うほか、29年までに耐障害性量子コンピュータを構築するロードマップも発表。現在の主力事業を強化しつつ、次世代のコンピューティング分野でリーダーシップ確立を目指す。

生成AIの受注増加：25年6月末時点のワトソンXプラットフォームやAIコンサルなどの生成AI関連事業の累計受注額は75億ドルを超え、3月末の65億ドルから3ヶ月で10億ドル以上増加し順調。新型メインフレーム「IBM Z」の投入効果も貢献して今期は前期比5%増収を見込む。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	260.26 (07/30)
52週高値(日付)	296.1 (25/06/25)
52週安値(日付)	182 (24/08/05)
時 価 総 額	2,424億ドル 36兆2,468億円
株価変化率(%)	1.8 (過去6ヶ月間) 35.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	24.0 (倍)
株価売上高比率	3.8 (倍)
PBR	8.8 (倍)
税前配当利回り(%)	2.58 (直近年率)
配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.6 (%)
株式ベータ	0.72 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	税引前利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	61,860	2	8,690	7.5倍	7,502	4.6倍	8.14	6.63
2024/12	62,753	1	5,797	-33	6,023	-20	6.43	6.67
四半期業績								
2024/Q2	15,770	—	2,219	—	1,834	—	1.96	1.67
2025/Q2	16,977	8	2,597	31	2,194	20	2.31	1.68

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

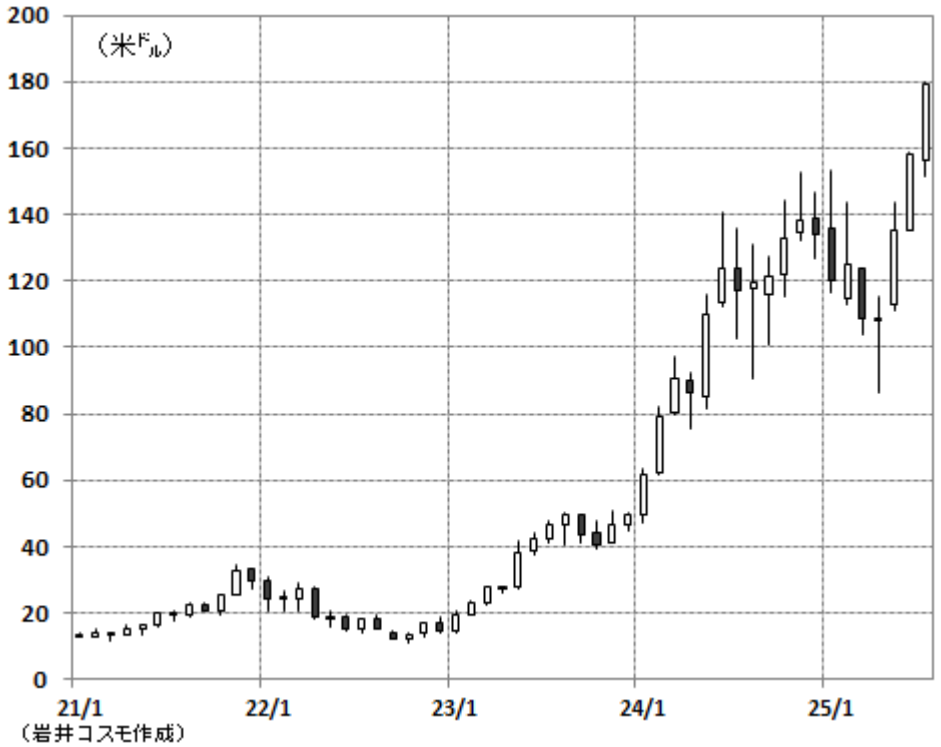
会 社 概 要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクターや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが88%、ゲーム市場向けが9%、プロ向けの視覚化技術が1.4%、自動車向けが1.3%、OEM&IPが0.3%(25年1月期)。

注 目 ポ イ ン ト

□ **AI半導体で主導権**： AIの計算処理に同社の半導体が広く利用され、コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルするが今やAIインフラの必須アイテム。AI計算の開発環境やGPUと共に動くCPU、人型ロボットの基盤モデル等も開発する。2-4月期は最新GPUブラックウェルを240億ドル売り上げた。2026年にはブラックウェルの次の世代となるGPU「ルビーン」を投入予定である。

□ **中国向けのAI用半導体を再出荷へ**： ファンCEOは7月中旬にトランプ大統領と会談。そこで中国向けAI半導体「H20」の出荷再開を直談判、米国のAI分野のリーダーシップ維持や国内の雇用創出に貢献できることをアピールした成果が実り、米政府から承認を獲得した。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	179.27 (07/30)
52週高値(日付)	179.89 (25/07/30)
52週安値(日付)	86.63 (25/04/07)
時 価 総 額	4兆3,742億ドル 653兆9848億円
株価変化率(%)	49.3 (過去6ヶ月間) 53.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	57.6 (倍)
株価売上高比率	29.6 (倍)
PBR	52.1 (倍)
税前配当利回り(%)	0.02 (直近年率)
配当成長率(%)	81.8 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	115.5 (%)
株式ベータ	1.88 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2024/01	60,922	126	32,972	681	29,760	581	1.19	0.016
2025/01	130,497	114	81,453	147	72,880	145	2.94	0.034
四半期業績								
2025/Q1	26,044	—	16,909	—	14,881	—	0.60	0.004
2026/Q1	44,062	69	21,638	28	18,775	26	0.76	0.010

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社 名 (ティッカー)

マイクロソフト(MSFT)

上 場 市 場

ナスダック

セ ク タ ー

ソフトウェア

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

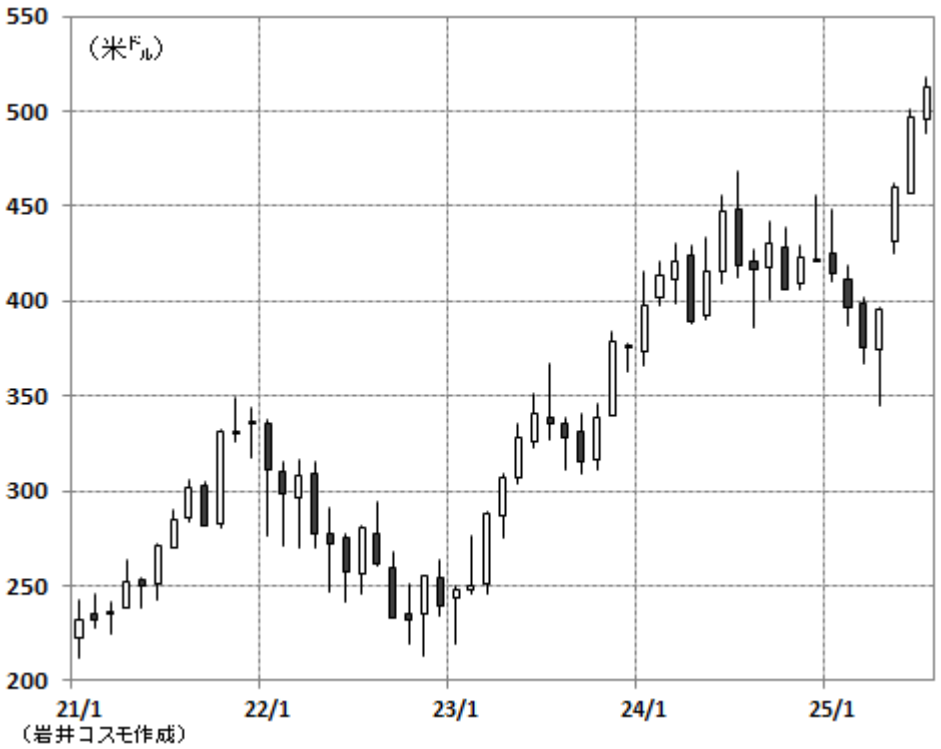
会 社 概 要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注 目 ポ イ ン ト

□**クラウド事業の拡大が奏功**:マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理等のクラウド「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役となっている。

□**サポート生成AIが実装・収益貢献**:23年秋から「ウィンドウズ11」にAI支援機能「コパイロット」を追加、商用サービスを開始。出資先のオープンAIの技術をフル活用してAIに指示してパソコン操作を代行できる。4-6月期の「アジュール・他クラウドサービス」の伸び(除く・為替変動)は、AI用データセンター拡充に伴って前年同期比39%増と成長加速。同社製品全体でAI機能の利用客が8億人に上ることを明らかにした。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	513.24 (07/30)
52週高値(日付)	518.29 (25/07/25)
52週安値(日付)	344.83 (25/04/07)
時 価 総 額	3兆8,147億 ^{ドル} 570兆3326億円
株価変化率(%)	23.7 (過去6ヶ月間) 22.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	37.5 (倍)
株価売上高比率	13.5 (倍)
PBR	11.9 (倍)
税前配当利回り(%)	0.65 (直近年率)
配当成長率(%)	10.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	33.6 (%)
株式ベータ	1.00 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00
2025/06	281,724	15	128,528	17	101,832	16	13.64	3.32
四半期業績								
2024/Q4	64,727	—	27,925	—	22,036	—	2.95	0.75
2025/Q4	76,441	18	34,323	23	27,233	24	3.65	0.83

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社 名 (ティッカー)

アップル(AAPL)

上 場 市 場

ナスダック

セ ク タ ー

IT機器

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

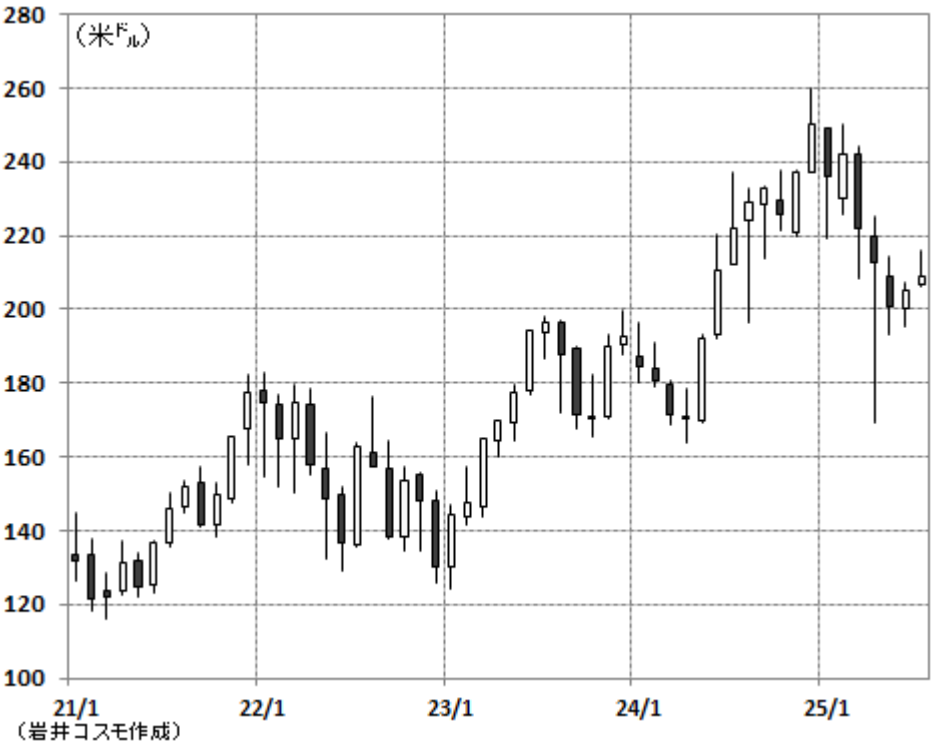
会 社 概 要

スマートフォン(スマホ)「 아이폰 」や、タブレットPC「 アイパッド 」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注 目 ポ イ ン ト

□ **アップル版生成AI(日本語版)開始**: 生成AI「アップルインテリジェンス」が日本語に対応し、絵文字作成機能や音声指示機能を4月1日より提供開始した。ただより高度な分析機能は米国でも未提供で競合のオープンAIやグーグルに後れを取っている。6月開催の年次開発者会議では、電話やフェイスタイムのライブ翻訳機能が発表された。

□ **関税影響続く**: 1-3月期の 아이폰 販売は2%増と駆け込み需要は見られず、今後製造を中国からインドへ本格移行する。4-6月期の関税コストは9億ドルと試算。トランプ政権は4月半ばにスマホ等の電子関連製品を相互関税の対象から一時除外すると発表も、5月23日に国外製品に25%関税を課す可能性に言及し、視界不良が続く。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	209.05 (07/30)
52週高値(日付)	260.09 (24/12/26)
52週安値(日付)	169.22 (25/04/08)
時 価 総 額	3兆1,223億 ^{ドル} 466兆8202億円
株価変化率(%)	-11.4 (過去6ヶ月間) -5.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	29.5 (倍)
株価売上高比率	7.9 (倍)
PBR	46.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.50 (直近年率)
配当成長率(%)	4.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	138.0 (%)
株式ベータ	1.05 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/09	383,285	-3	114,301	-4	96,995	-3	6.13	0.94
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98
四半期業績								
2024/Q2	90,753	—	27,900	—	23,636	—	1.53	0.24
2025/Q2	95,359	5	29,589	6	24,780	5	1.65	0.25

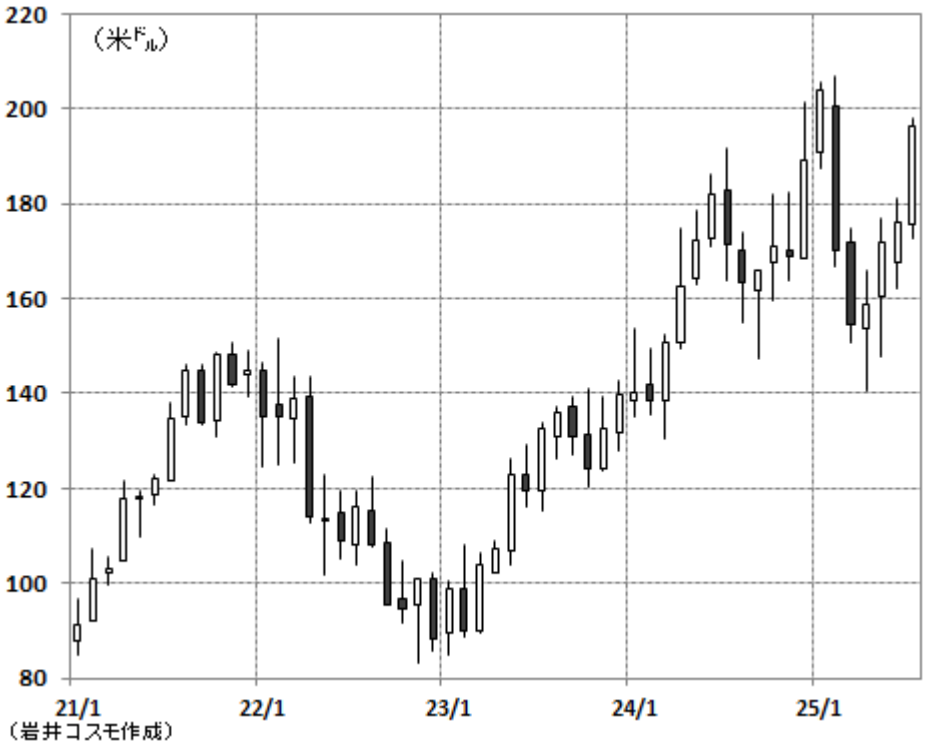
(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は187,103人(25年6月末)。

注目ポイント

- 複数のAI製品を積極展開：生成AIは「Gemini 2.5」ファミリーの安定版が提供され、スマートフォンやクラウド製品、スマートウォッチへの実装が加速。検索のAI返答機能「AIオーバービュー」は月間15億人が利用。サブスク事業はYouTube有料会費などが好調で、有償契約数は拡大を続ける。また無人ロボタクシーのウェイモは、米国で週25万回以上の有料乗車を達成しつつ、25年4月からは東京でもテスト走行を開始。6月にはAIコーディングアシスタント「Gemini CLI」の提供を開始するなど、開発者向けツールを拡充した。
- 独禁当局と係争中、事業分離を提案：米司法省とは独禁法違反の是正策としてウェブ閲覧ソフト「クロム」事業の売却を求めて係争中だが、2025年8月前半には判決が出る予定である。



株価チャート (2021年以降・月足)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^千 円)	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^千 円)	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^千 円)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00
2024/12	350,018	14	84,293	33	100,118	36	8.04	0.60
四半期業績								
2024/Q2	84,742	—	27,425	—	23,619	—	1.89	0.20
2025/Q2	96,428	14	31,271	14	28,196	19	2.31	0.21

株価データ		株価指標 (バリュエーション)	
株 価 (米ドル)	196.53 (07/30)	実績PER	23.0 (倍)
52週高値 (日付)	207.05 (25/02/04)	株価売上高比率	6.5 (倍)
52週安値 (日付)	140.53 (25/04/07)	PBR	6.6 (倍)
時 価 総 額	2兆3,822億ドル 356兆1568億円	税前配当利回り (%)	0.43 (直近年率)
株価変化率 (%)	-3.7 (過去6ヶ月間) 14.6 (過去1年間)	配当成長率 (%)	305.0 (過去1年間)
		株主資本利益率 (ROE)	34.8 (%)
		株式ベータ	1.04 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

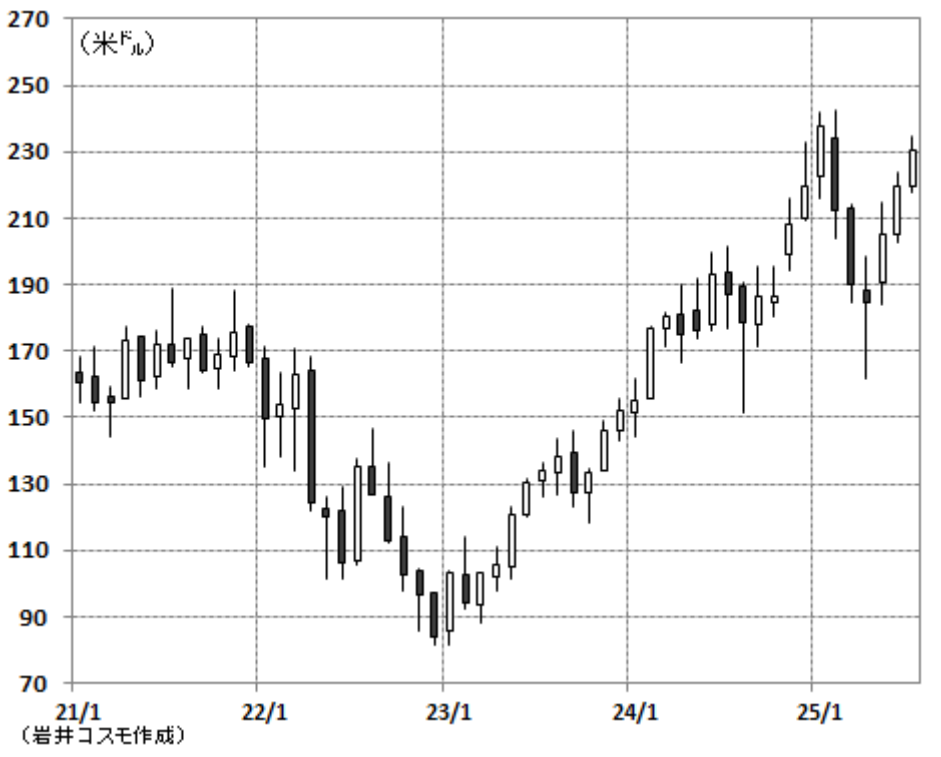
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントンシアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注目ポイント

□増収増益決算続く：1-3月決算は前年同期比64%最終増益の着地。企業のAI利用が進むAWS(クラウド)事業は17%増収、営業利益率は39.5%は過去最高を記録した。小売事業はロボットを導入を図った配送効率の改善が持続、関税強化前の仕入れ急増に対応した。高採算の広告事業の拡大も増益要因だが、アマゾンを使う販売業者の支出増ペースが鈍化傾向。7月に4日間の特売セールを実施した。

□内製半導体で低コスト化：2015年にイスラエルの半導体企業アナプナ・ラプスを買収、AI計算に外部調達のGPU以外に複数の内製化したカスタム半導体を多く使用しデータセンター運用の低コスト化に貢献。生成AIの学習や通信機器・記憶装置の高速化を担う半導体まで開発。



株価チャート(2021年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)	
株 価(米ドル)	230.19 (07/30)	実績PER	37.8 (倍)
52週高値(日付)	242.51 (25/02/04)	株価売上高比率	3.7 (倍)
52週安値(日付)	151.61 (24/08/05)	PBR	8.0 (倍)
時 価 総 額	2兆4,438億ドル 365兆3693億円	税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
株価変化率(%)	-3.2 (過去6ヶ月間) 23.1 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)
		株主資本利益率(ROE)	25.2 (%)
		株式ベータ	1.25 (対S&P500)

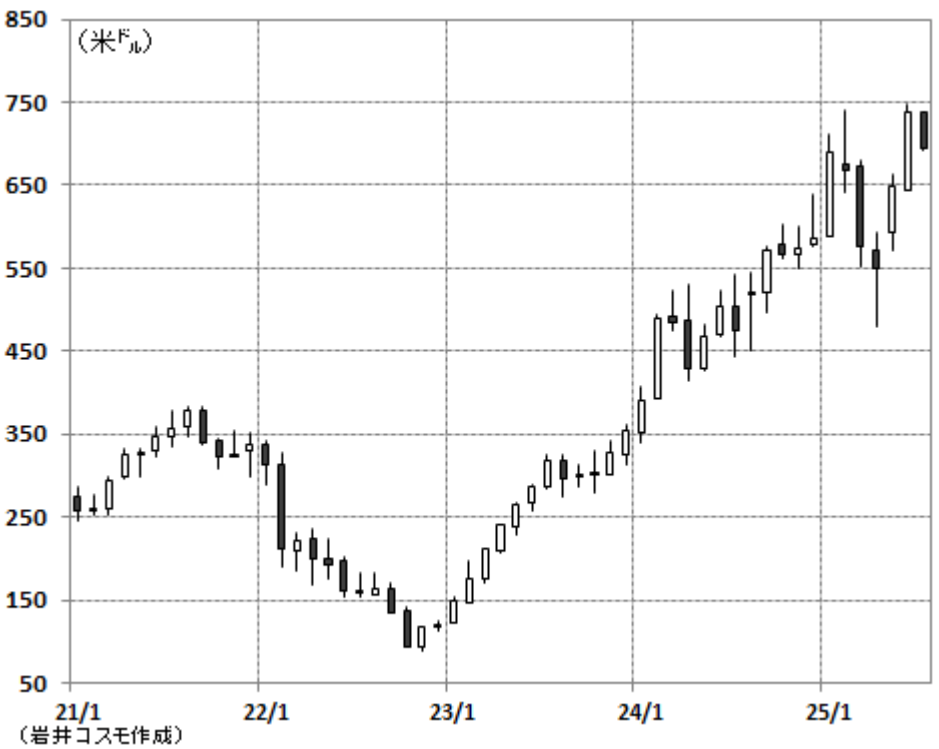
通期業績							
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90
2024/12	637,959	11	68,593	86	59,248	95	5.53
							0.00
四半期業績							
2024/Q1	143,313	—	15,307	—	10,431	—	0.98
2025/Q1	155,667	9	18,405	20	17,127	64	1.59
							0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(Instagramなども含む)は全世界で34.8億人(25年4-6月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は75,945人(25年6月末時点)。

- 注目ポイント
- AI活用で収益拡大に貢献: 4-6月期の前年同期比・増収率は+22%と成長加速。InstagramやFB内の短編動画広告やワッツアップのビジネスメッセージ等の新タイプの広告がけん引する。AI活用によりターゲット広告の性能が増し、広告単価が上昇した他、動画広告の視聴時間が伸び、広告表示回数の伸びも加速した。また社内業務にAIを導入しコスト抑制が進み、営業利益率の改善に繋がった。
 - 傘下のワッツアップを収益化: 20億人以上が利用するSNS、ワッツアップに広告やサブスク制を導入し、新たな収益源を確保する。広告は「アップデート」タブ内に表示、チャンネル運営者のサブスク提供も可能になる。



株価データ		株価指標 (バリュエーション)	
株 価 (米ドル)	695.21 (07/30)	実績PER	25.1 (倍)
52週高値 (日付)	747.84 (25/06/30)	株価売上高比率	9.8 (倍)
52週安値 (日付)	450.81 (24/08/05)	PBR	9.0 (倍)
時 価 総 額	1兆7,480億 ^{ドル} 261兆3413億円	税前配当利回り(%)	0.30 (直近年率)
株価変化率(%)	0.9 (過去6ヶ月間) 46.4 (過去1年間)	配当成長率(%)	105.0 (過去1年間)
		株主資本利益率(ROE)	40.6 (%)
		株式ベータ	1.21 (対S&P500)

通期業績							
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})
2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87
2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86
							0.00
							2.00
四半期業績							
2024/Q2	39,071	—	14,847	—	13,465	—	5.16
2025/Q2	47,516	22	20,441	38	18,337	36	7.14
							0.50
							0.525

従来の概念を覆す電気自動車メーカー世界大手

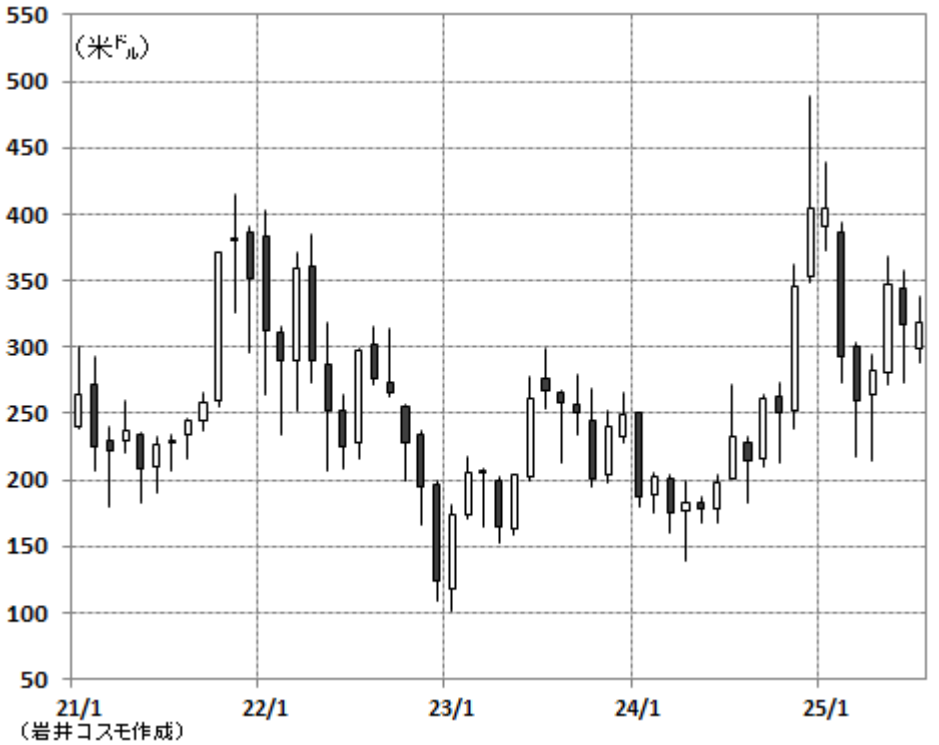
会 社 概 要

2003年創業の世界的な電気自動車(EV)メーカー。高速・長距離走行が可能でEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。24年のEV納車台数は前期比1%減の179万台。CEOのイーロン・マスク氏はトランプ大統領と関係性が深く、宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任する等、世界を代表するカスマ経営者として知られる。S&P500種指数採用銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□**マスク氏企業経営に専念**：マスク氏の政治上の極端な発言によるイメージ悪化や競争激化を背景にEV販売が低迷が続く。マスク氏はDOGE(政府効率化省)業務を終了して企業経営に専念、5年後もテスラのCEOでいる見通しを示した。6月にトランプ大統領とSNS上で減税法案を巡り口論、袂を分かった格好。自動運転の規制緩和のみが成果となった。

□**ロボタクシー事業に傾斜**：4-6月期決算では米国の7,500ドルのEVの購入補助金が9月で終了し、EV事業については厳しい見方を示した一方、6月にテキサス州オースチンでロボタクシー-商業サービス開始。ロボタクシーを25年末までに米国人口の約半分をカバーする地域で展開する考え。専用設計のロボタクシー「サイバーキャブ」は26年の量産開始を目指す。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	319.04 (07/30)
52週高値(日付)	488.5 (24/12/18)
52週安値(日付)	182 (24/08/05)
時 価 総 額	1兆0,290億ドル 153兆8528億円
株価変化率(%)	-21.1 (過去6ヶ月間) 37.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	184.5 (倍)
株価売上高比率	11.1 (倍)
PBR	13.3 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.4 (%)
株式ベータ	1.58 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00
四半期業績								
2024/Q2	25,500	—	1,605	—	1,400	—	0.40	0.00
2025/Q2	22,496	-12	923	-42	1,172	-16	0.33	0.00

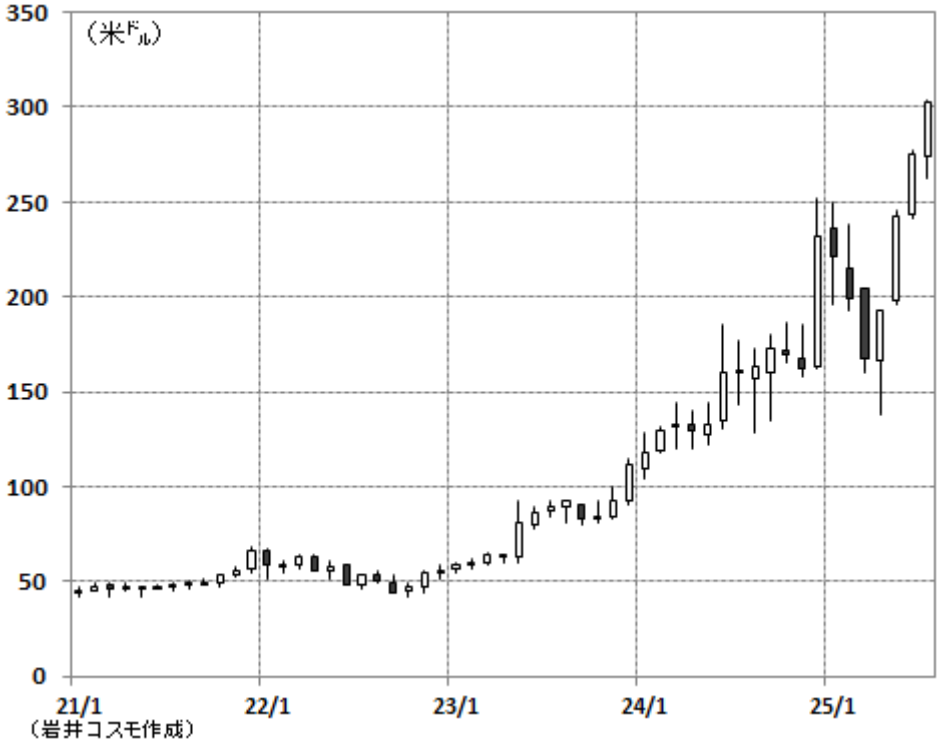
(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

会社概要
2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

- 注目ポイント**
- **カスタム半導体等のAI半導体を供給**： 巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC (特定用途集積回路) を提供、カスタム半導体分野のトップ企業として知られる。またAIサーバ-同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給する。
 - **AI半導体の顧客増加で業界優位に**： カスタムAIアクセラレータ(XPU)や高速ネットワーク機器向けが好調な同社のAI半導体は2-4月に前年同期比46%増の46億ドル、5-7月は同60%増の51億ドルを見込む。XPUはIT大手3社に27年末まで各々100万個を出荷する予定、また別の4社がAIアクセラレータを開発中で計画は進展中とした。AI半導体を相互接続する光電融合技術の半導体(CPO)の開発に注力中。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株 価(米ドル)	302.62 (07/30)	実績PER	76.9 (倍)	決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
52週高値(日付)	303.23 (25/07/30)	株価売上高比率	24.9 (倍)	2023/10	35,819	8	16,207	14	14,082	25	3.30	1.840
52週安値(日付)	128.5 (24/08/05)	PBR	20.5 (倍)	2024/10	51,574	44	13,463	-17	5,895	-58	1.23	2.105
時 価 総 額	1兆4,234億 ^{ドル}	税前配当利回り(%)	0.78 (直近年率)	四半期業績								
	2,12兆8,072億円	配当成長率(%)	13.0 (過去1年間)	2024/Q2	12,487	—	2,965	—	2,121	—	0.44	0.525
株価変化率(%)	36.8 (過去6ヶ月間)	株主資本利益率(ROE)	18.5 (%)	2025/Q2	15,004	20	5,829	97	4,965	134	1.03	0.590
	88.3 (過去1年間)	株式ベータ	1.91 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

データ管理ソフト世界最大手、インフラクラウド市場で大躍進

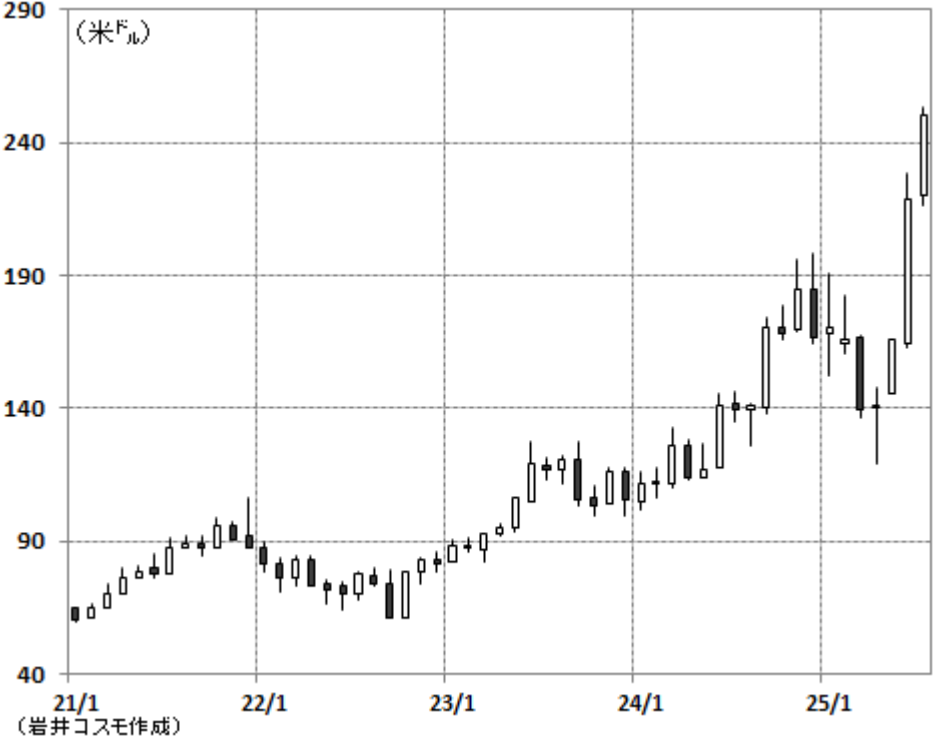
会 社 概 要

1977年創業のマイクロソフトに次ぐ、世界2位のソフトウェア会社。法人向けデータベース管理システム(DNMS)が代表製品でデータ保護等の安全性や拡張性の高さが特長。2005年に基幹業務システムのヒールソフトを買収後はM&Aを積極化、業務用ソフトを強化。2010年にサン・マイクロを買収、サーバー市場分野に進出。近年はサブスク型のクラウドサービスへのシフトを進める。創業者兼会長のラリー・エリソン氏が筆頭株主。

注 目 ポ イ ン ト

❑ **マルチクラウド戦略でクラウド市場で大躍進**：オラクルはAWS等の大規模クラウド業者と連携を強化、顧客が複数のクラウド環境を円滑に統合・活用するソリューションを提供。自社の高性能データベースを他社クラウド上で直接利用できる様にし、効率性や耐障害性を高める取り組みが奏功する。マルチクラウドデータセンターは現在23カ所あるが、今後12カ月で47カ所を建設する計画。

❑ **スターゲート計画も上乘せ**：米政府が支援するAIインフラ整備事業の「スターゲート計画」は一部が受注残に反映され始めた段階。26年5月期売上見通しは前期比17%増の670億ドルとし、クラウド収入全体の伸びが4割超、うちクラウドインフラ部門が同7割超となる見通し。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	250.6 (07/30)
52週高値(日付)	253.005 (25/07/29)
52週安値(日付)	119.01 (25/04/07)
時 価 総 額	7,039億ドル 1,05兆2,391億円
株価変化率(%)	47.4 (過去6ヶ月間) 79.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	56.6 (倍)
株価売上高比率	12.2 (倍)
PBR	34.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.80 (直近年率)
配当成長率(%)	12.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	85.4 (%)
株式ベータ	1.27 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/05	52,961	6	15,353	17	10,467	23	3.71	1.60
2025/05	57,399	8	17,678	15	12,443	19	4.34	1.70
四半期業績								
2024/Q4	14,287	—	4,686	—	3,143	—	1.11	0.40
2025/Q4	15,903	11	5,109	9	3,427	9	1.19	0.50

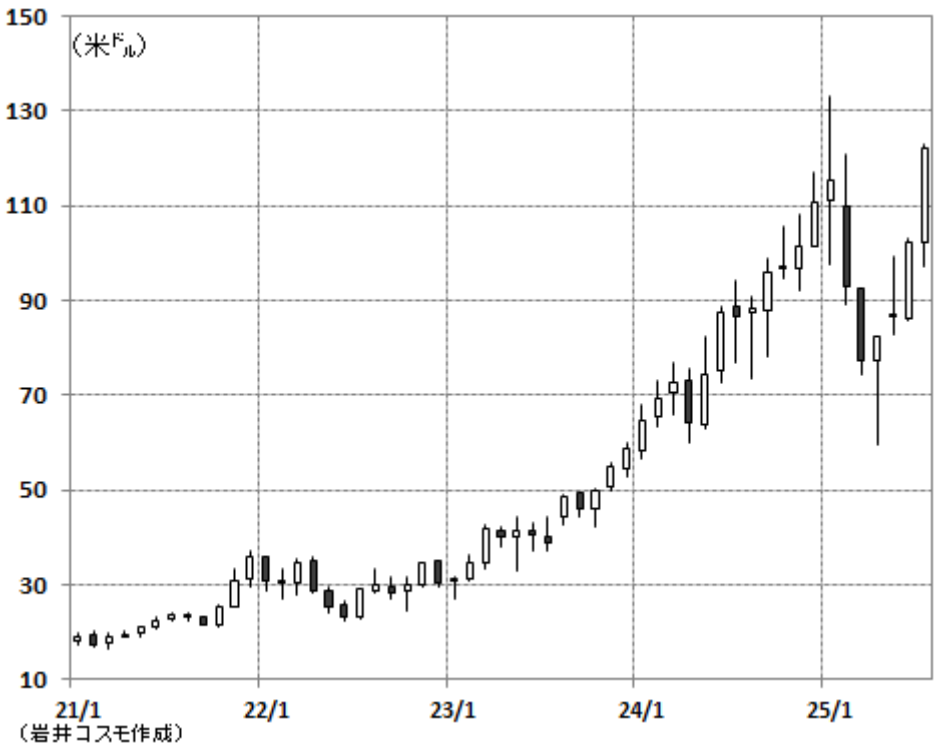
(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

データセンター用ネットワーク機器大手。クラウド化の恩恵享受

会社概要
2004年創業のネットワーク機器メーカーで、2024年にデータセンター用スイッチ市場でシェアトップとなった。大手インターネット企業やクラウドサービス提供会社に高速通信可能なスイッチ製品等を提供、主要顧客のマイクロソフトをはじめ、メタ(旧フェイスブック)、アマゾン、アルファベットなどの大手インターネット企業が利用。24年末の顧客企業数は世界各地で1万社超を数える。本社はカリフォルニア州、従業員数は約4,412人(24年末)。

- 注目ポイント**
- 主力はスイッチ製品、データセンターの拡大と共に成長：主力製品のスイッチはネットワークを構築するハブ(集線装置)となるもの。多数のコンピュータからデータ伝送処理を効率良く行う役割でデータセンター機能の一翼を担う。ユーザー汎用性/オープン性を高め、データセンターの広がりと共に成長、AI専用でも高速化に対応して市場シェアを獲得した。
 - 潜在成長規模700億ドル：28年の潜在成長余地を24年売上高70億ドルの10倍の700億ドルと試算、データセンターやクラウド用製品の他、小型通信機器、関連ソフトやセキュリティの各分野の市場拡大を見込む。2023-26年に年平均10%台半ばの売上成長目標を掲示。



株価データ	
株 価(米ドル)	122.09 (07/30)
52週高値(日付)	133.04 (25/01/24)
52週安値(日付)	59.51 (25/04/07)
時 価 総 額	1,533億ドル 22兆9,252億円
株価変化率(%)	6.0 (過去6ヶ月間) 40.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	52.9 (倍)
株価売上高比率	20.7 (倍)
PBR	15.2 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	33.7 (%)
株式ベータ	1.86 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	5,860	34	2,257	48	2,087	54	1.65	0.00
2024/12	7,003	20	2,945	30	2,852	37	2.23	0.00
四半期業績								
2024/Q1	1,571	—	660	—	638	—	0.50	0.00
2025/Q1	2,005	28	859	30	814	28	0.64	0.00

動画配信サービス最大手、オリジナルコンテンツ拡充と広告付きプランで収益拡大を目指す

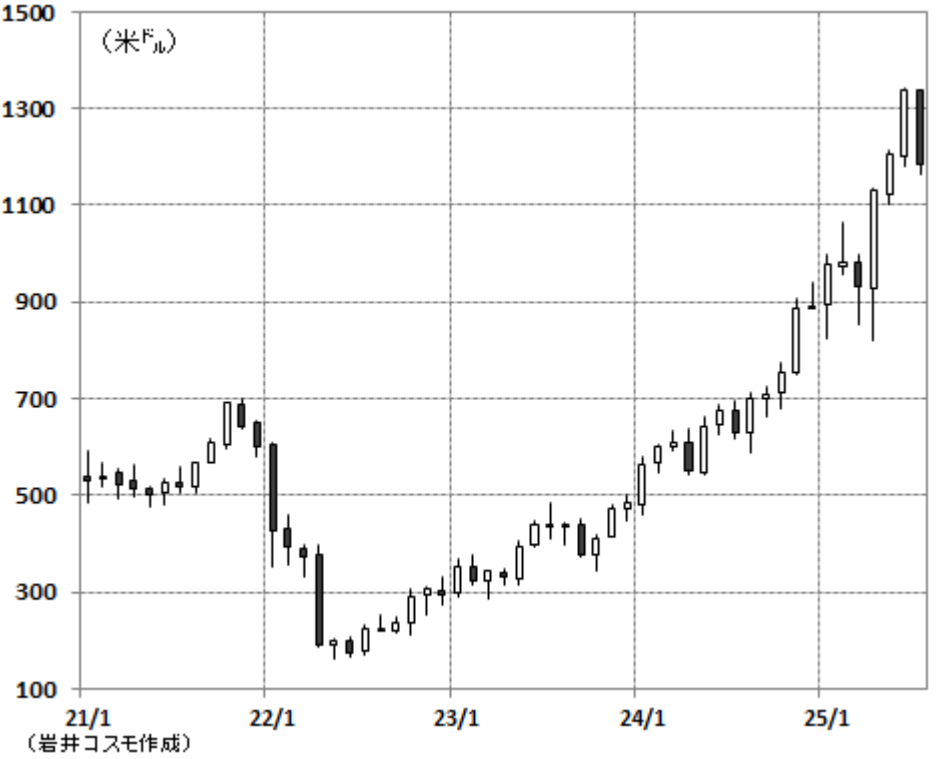
会 社 概 要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナル・コンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。24年末時点の会員数は全世界で約3.03億人。

注 目 ポ イ ン ト

□**時価総額1兆ドル目指す**：3月の年次経営会議で2030年までに時価総額1兆ドルを達成し、売上高を2倍にすることを目標に掲げたと報じられた。30年までに通期売上高を24年の390億ドルから倍増させ、うち広告収入は約90億ドルに拡大させるという。25年4-6月期も収益性改善を伴う2桁増収・増益が続いた。会員数の堅調な伸びや値上げ、広告収入の増加が寄与。25年通期の売上高見通しを従来の435億-445億ドルから448億-452億ドルへと上方修正した。

□**人気作の続編も配信予定**：4-6月期に話題となった韓国ドラマ「イカゲーム」の最終シーズンに加え、年後半には「ウェンスデー」や「ストレンジャー・シングス 未知の世界」といった人気シリーズが視聴者を呼び込むと期待。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	1184.2 (07/30)
52週高値(日付)	1340.925 (25/06/30)
52週安値(日付)	588.43 (24/08/05)
時 価 総 額	5,032億 ^{ドル} 75兆2,331億円
株価変化率(%)	21.2 (過去6ヶ月間) 88.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	49.9 (倍)
株価売上高比率	12.1 (倍)
PBR	20.2 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	43.5 (%)
株式ベータ	1.16 (対S&P500)

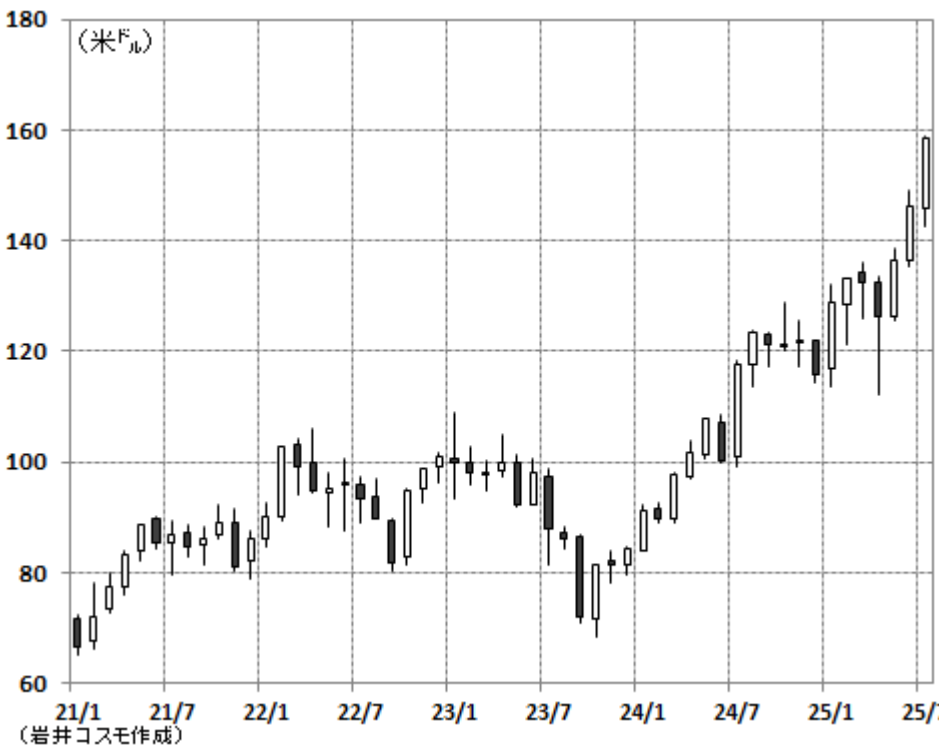
通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	33,723	7	6,954	23	5,408	20	12.03	0.00
2024/12	39,001	16	10,418	50	8,712	61	19.83	0.00
四半期業績								
2024/Q2	9,559	—	2,603	—	2,147	—	4.88	0.00
2025/Q2	11,079	16	3,775	45	3,125	46	7.19	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

会社概要
米国の防衛・航空宇宙関連機器メーカ。旧ユナイテッド・テクノロジーズがエレベーター部門(現オチス)と空調部門(現キャリア)を分離し、残った防衛・航空宇宙部門が同業のレイセオンと対等合併して誕生。主要事業部門【カッコ内は24年売上構成比】は、コリンズ・エアロスペース・システムズ(航空部品【32%】)、プラット&ホイットニー(航空エンジン【35%】)、レイセオン(センサー、サイバー&ソフトウェア、軍事・防衛【33%】)の3部門からなる。

- 注目ポイント**
- 民生から防衛まで事業は多岐：傘下のプラット&ホイットニーはGEアビエーションや英ロールス・ロイスとともに航空機用エンジンの世界ビッグ3の一角でボーイングや欧州エアバス等に供給。軍用部門では世界1位のミサイルメーカーであり、巡航ミサイル「トマホーク」や広域防空用の地対空ミサイル「パトリオット」、対戦車誘導ミサイルシステム「ジャベリン」等が有名。
 - 次世代ミサイル防衛構想：トランプ大統領が推進する次世代ミサイル防衛構想「ゴールデンドーム」は、地球の軌道上に衛星と兵器の巨大ネットワークを構築する構想であり、プロジェクト予算の一部が現在、包括法案に盛り込まれ協議中。同社をはじめ、L3ハリスやロッキード・マーチン、パランティアなどが既に契約企業の候補として報じられている。



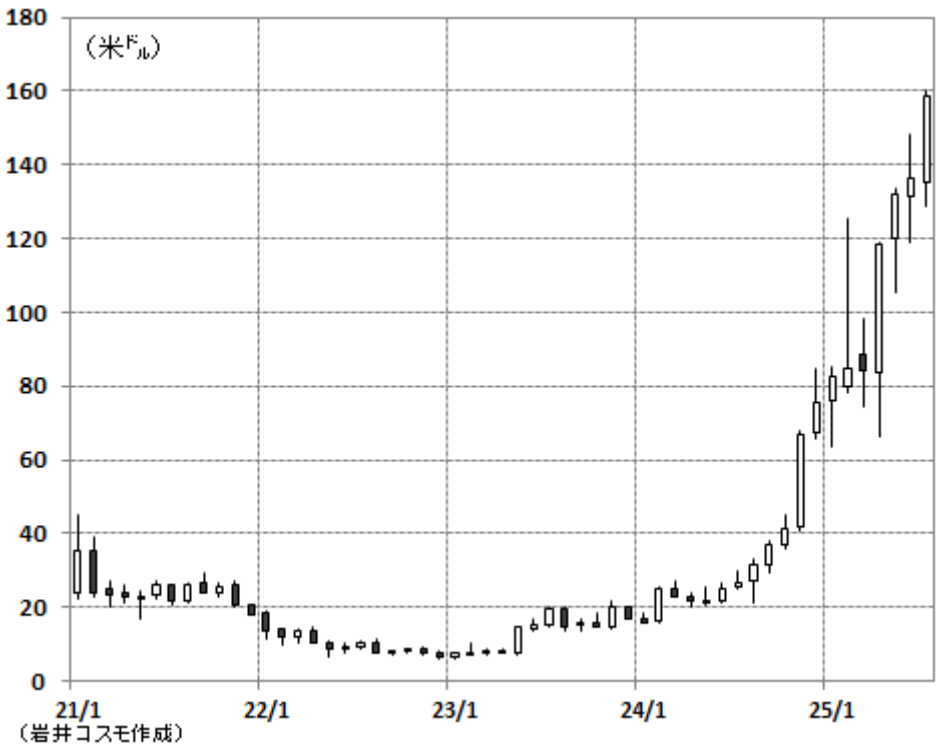
株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株 価 (米ドル)	158.4 (07/30)	実績PER	26.9 (倍)	決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
52週高値 (日付)	158.73 (25/07/30)	株価売上高比率	2.5 (倍)	2023/12	68,920	3	3,561	-35	3,195	-39	2.23	2.32
52週安値 (日付)	112.31 (25/04/07)	PBR	3.4 (倍)	2024/12	80,738	17	6,538	84	4,774	49	3.55	2.48
時 価 総 額	2,120億 ^{ドル} 31兆6,999億円	税前配当利回り(%)	1.72 (直近年率)	四半期業績								
		配当成長率(%)	7.1 (過去1年間)	2024/Q2	19,721	—	529	—	111	—	0.08	0.63
株価変化率(%)	22.8 (過去6ヶ月間) 34.8 (過去1年間)	株主資本利益率(ROE)	10.1 (%)	2025/Q2	21,581	9	2,146	306	1,657	15倍	1.22	0.68
		株式ベータ	0.71 (対S&P500)									

会社概要
データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏やCEOのアレキサンダー・カープ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析、抽出できる技術に定評有り。「パランティア」は映画「指輪物語」の何でも見通すことが出来る水晶玉に由来。同社株式は2020年9月に直接上場方式でNYSE上場、24年9月にS&P500指数採用、同年11月にナスダックに鞍替え、翌12月にナスダック100指数に採用された。

注目ポイント
□ **祖業はテロ対策**：2008年に兵士を爆発物から守る目的で米諜報機関向けに「ゴッサム」を開発、ビンラディン容疑者の捜索にも貢献したとされる。無数のデータポイントから現実世界のモデルを構築する能力を得意とし、最近では生成AI技術と統合した。現在は西側の政府機関に各所で広く採用。また民間転用された「ファウントリ-」は2016年に投入、エネルギー(設計)や運輸(生産性向上)、金融(リスク分析)、ヘルスケア(供給網管理)等で世界の約90の業界で導入が進む。

□ **高成長要因**：25年3月の政府・民間顧客数は前年比約4割増の769と急増中。飛躍の要因は、各地の紛争に関連した米政府との新契約や米民間事業の成長加速、生成AIサービスの需要の拡大など。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)	
株 価 (米ドル)	158.61 (07/30)	実績PER	673.1 (倍)
52週高値 (日付)	160.39 (25/07/25)	株価売上高比率	116.5 (倍)
52週安値 (日付)	21.23 (24/08/05)	PBR	69.0 (倍)
時 価 総 額	3,743億ドル 55兆9,624億円	税前配当利回り (%)	無配 (直近年率)
株価変化率 (%)	92.3 (過去6ヶ月間) 489.8 (過去1年間)	配当成長率 (%)	— (過去1年間)
		株主資本利益率 (ROE)	12.4 (%)
		株式ベータ	1.94 (対S&P500)

通期業績							
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)
2023/12	2,225	17	120	黒転	210	黒転	0.09
2024/12	2,866	29	310	159	462	120	0.19

四半期業績							
2024/Q1	634	—	81	—	106	—	0.04
2025/Q1	884	39	176	118	214	103	0.08

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

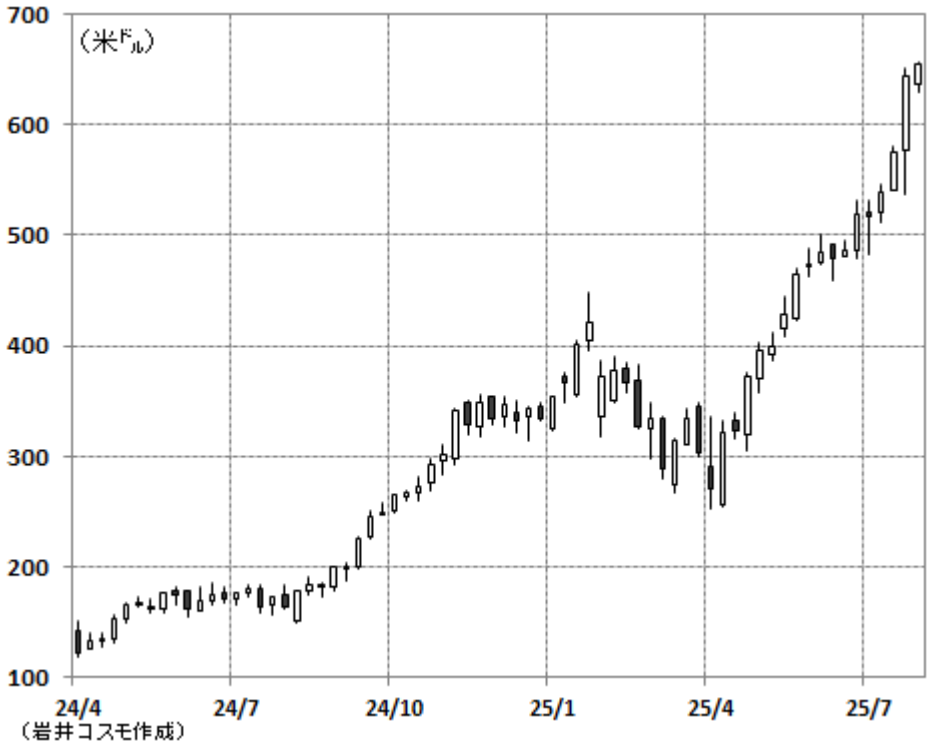
天然ガスタービン等を主力とする電力設備世界大手、「エネルギー転換の巨人」との異名も

会 社 概 要

トマス・エジソン氏による初の商用発電所建設(1882年)以来、長く発電設備を提供してきた世界的企業。ゼネラル・エレクトリックの組織再編に伴い、24年4月に分社手続きを完了。発電設備以外に送電/変電/蓄電等の電化関連も製造。再生可能エネルギー分野ではガス/原子力/水力/蒸気発電設備、また風力タービンやブレード等まで取り扱う。100カ国超で製品展開、社員数は約75,000名(24年末)。

注 目 ポ イ ン ト

- 「**エネルギー転換の巨人**」: GEベルノバは発電から送配電、再生可能エネルギー分野までエネルギー転換に必要な要素を幅広くカバーし、グローバル展開できる規模と技術力を持つ企業として「エネルギー転換の巨人」と評価する声も聞かれる。
- 業績好調**: 24年売上高全体の54%が製品売上、46%がサービス収入の構成で事業の安定性は比較的高い。電力会社と長期契約を結び、事業基盤を確立、特に電力事業売上の7割が保守・点検等のサービス収入を占め、現金収支の黒字のほとんどを稼ぐ。発電源別では天然ガス関連が多い。また電化事業は高成長で収益改善が進行中。電力需要の急増でガスタービンの納期が大幅に延びている。



株 価 チ ャ ー ト (分離上場来・週足)

株価データ	
株 価 (米ドル)	655 (07/30)
52週高値 (日付)	656.11 (25/07/30)
52週安値 (日付)	150.11 (24/08/05)
時 価 総 額	1,783億 ^{ドル} 26兆6,586億円
株価変化率 (%)	75.7 (過去6ヶ月間) 267.5 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	139.2 (倍)
株価売上高比率	4.9 (倍)
PBR	20.1 (倍)
税前配当利回り (%)	0.15 (直近年率)
配当成長率 (%)	— (過去1年間)
株主資本利益率 (ROE)	12.9 (%)
株式ベータ	— (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	33,239	12	-923	赤継	-438	赤継	-1.60	0.00
2024/12	34,935	5	471	黒転	1,552	黒転	5.58	0.25
四半期業績								
2024/Q2	8,204	—	527	—	1,294	—	4.65	0.00
2025/Q2	9,111	11	378	-28	514	-60	1.86	0.25

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

テキサス州拠点の電力会社、M&Aを通じて原発大手に変貌

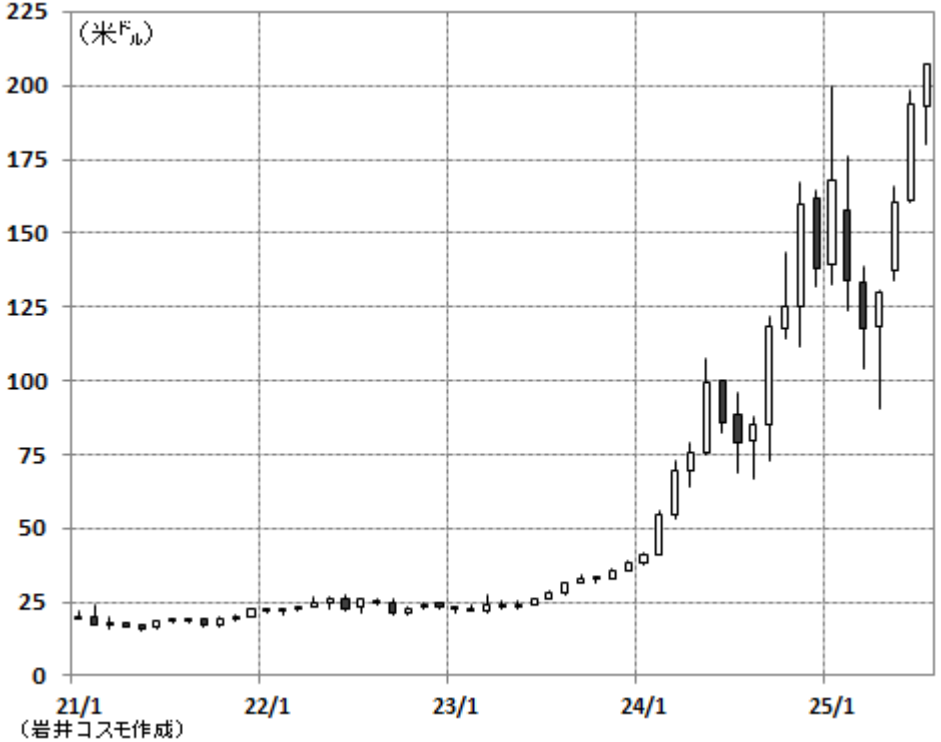
会 社 概 要

テキサス州拠点のエネルギー会社。子会社を通じて電力・天然ガスの小売販売に従事。ほか原子力・天然ガス・太陽光等の発電事業も手がける。全米20州とコロンビア特別区でサービスを提供。小売事業は子会社であるTXUエナジーなど5社がテキサス州中心に展開。一方、発電事業はビストラが天然ガス/原子力/再生可能エネルギー等の発電施設を運営、最終的にゼロカーボン発電を目指す。S&P500指数構成銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□**M&Aで原子力発電所取得**：24年3月に同業のエネルギー・ハーバーを買収し、米東部の原発施設3カ所(発電能力約4,000メガワット相当)を取得。独立系電力会社の原子力発電所保有数でコンステレーション・エナジーに次ぐ第2位となり、発電能力に占める原子力の割合が高まった。他、原発以外では天然ガスによる火力発電能力を増強中で、27年にテキサス州の火力発電所を石炭から天然ガスに転換する予定。

□**米国で注目される原発**：AI利用増によるデータセンターの電力需要の高まり、温暖化ガスを排出しない、24時間365日、安定的に電力供給できる「ベースロード電源」としての原子力発電が見直されている。5月23日にトランプ氏は原発建設を加速させる大統領令に署名した。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	207.05 (07/30)
52週高値(日付)	207.58 (25/07/30)
52週安値(日付)	66.78 (24/08/05)
時 価 総 額	703億ドル 10兆5,044億円
株価変化率(%)	23.2 (過去6ヶ月間) 161.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	44.7 (倍)
株価売上高比率	3.9 (倍)
PBR	30.0 (倍)
税前配当利回り(%)	0.44 (直近年率)
配当成長率(%)	4.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	80.8 (%)
株式ベータ	1.70 (対S&P500)

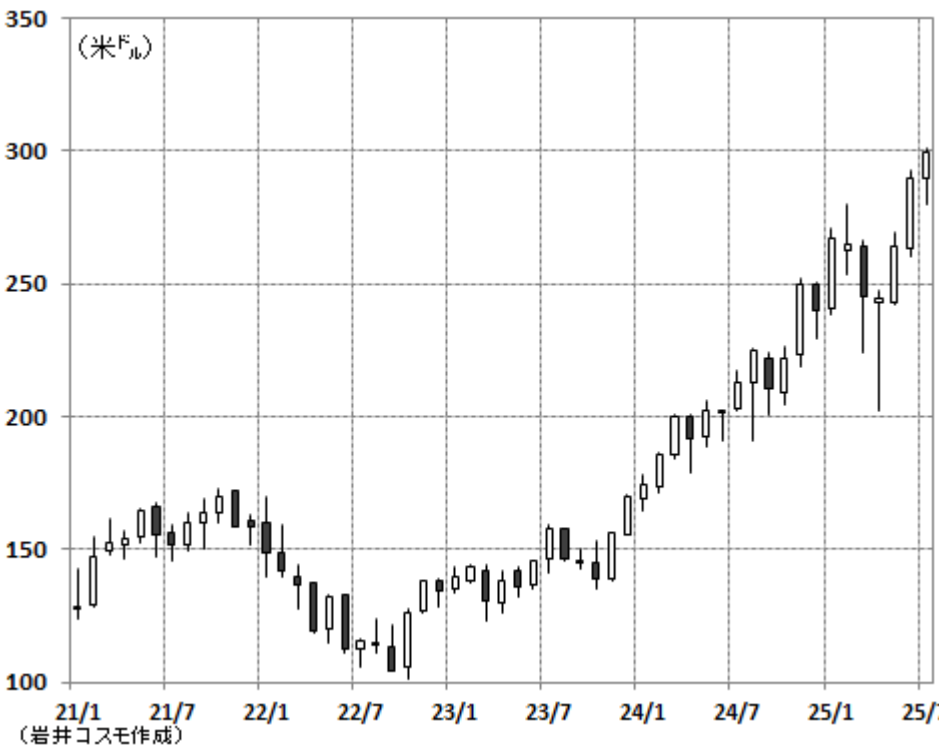
通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	14,779	8	2,661	黒転	1,343	黒転	3.58	0.8210
2024/12	17,224	17	4,081	53	2,467	84	7.00	0.8740
四半期業績								
2024/Q1	3,054	—	86	—	-84	—	-0.24	0.2150
2025/Q1	3,933	29	-120	赤転	-317	赤継	-0.93	0.2230

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

会社概要
世界有数のグローバル総合金融グループ。投資銀行、証券取引、資金決済、資産運用、プライベートバンキング、商業銀行等の各種サービスを提供。機関投資家向け事業を「JPモルガン」ブランドで、中小企業・個人向け事業を「チェース」ブランドで展開する。総資産、収益力、時価総額で世界屈指の規模を誇る。本社はニューヨーク市、従業員数は317,160人(25年6月末)。NYダウ工業株平均構成銘柄。

- 注目ポイント**
- 業界で一早くAIを活用：同行はAIを業界内で一早く取り入れ、業務効率の向上、リスク管理の強化、顧客体験の改善等を通じて最終的にROEなどの資本効率の高さに貢献していると見られる。具体例に法的文書の分析自動化ツールによる費用削減や決済システム上の異常取引の感知、迅速な回答が可能なコールセンター運営等がある。
 - 今年も株主還元を強化：7月1日のFRBストレステスト結果公表後、7.1%の増配(四半期配当1.40→1.50ドル)と、500億ドルの自社株買いを発表した。FRBは10月に同行に義務付けるストレス資本バッファ(SCB)を従来の3.3%から2.5%に引き下げる予定。資金運用等の面で経営の自由度が増す格好となる。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株 価(米ドル)	299.63 (07/30)	実績PER	15.4 (倍)	決算期	純営業収益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	税引前利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
52週高値(日付)	301.13 (25/07/29)	株価売上高比率	3.1 (倍)	2023/12	158,104	23	61,612	33	47,760	33	16.23	4.05
52週安値(日付)	190.95 (24/08/05)	PBR	2.4 (倍)	2024/12	177,556	12	75,081	22	56,868	19	19.75	4.60
時 価 総 額	8,327億 ^{ドル} 1,244,970億円	税前配当利回り(%)	1.87 (直近年率)	四半期業績								
		配当成長率(%)	20.5 (過去1年間)	2024/Q2	50,200	—	23,435	—	17,718	—	6.12	1.15
株価変化率(%)	12.1 (過去6ヶ月間) 40.8 (過去1年間)	株主資本利益率(ROE)	16.9 (%)	2025/Q2	44,912	-11	18,284	-22	14,630	-17	5.24	1.40
		株式ベータ	1.10 (対S&P500)									

米製薬大手、新型コロナ関連依存から脱却、コスト削減計画を推進中

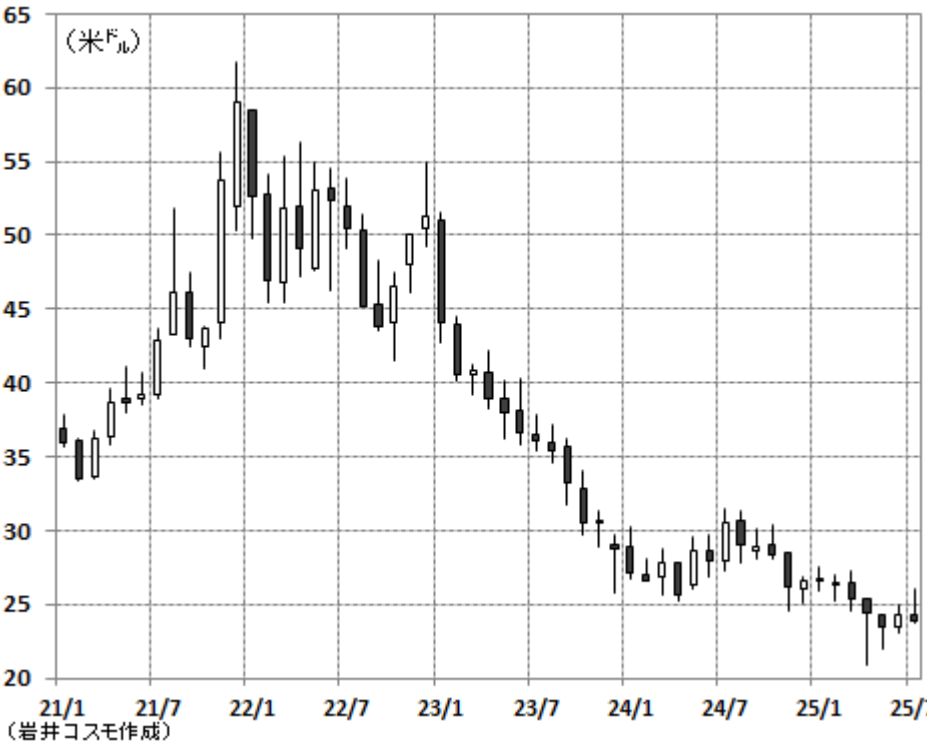
会 社 概 要

販売力に定評のある米製薬大手。近年は新型コロナのワクチン、抗ウイルス薬で存在感を示す。M&A戦略や新興国展開、利益改善に向けた社内構造改革を実行し、2019年に消費者向けヘルスケア部門を非連結化、20年に特許切れ部門を分離し、新薬開発・販売に傾斜。23年12月には米シ-ジェン社を買収、がん分野を強化した。本社は、ニューヨーク、社員数は約81,000名(24年末時点)。

注 目 ポ イ ン ト

コスト削減計画推進中： 25年4月末時点で新薬開発プロジェクトは108を数える。25年は引き続きコロナ以外の収益性向上を目指す。今年度までに累計約45億ドルのコスト削減目標を掲げており、さらに27年末までにITシステム刷新や製造最適化・生産性向上(第1段階)を通じて12億、15億ドルを経費削減する計画。

配当維持・増加方針： 関税の影響等は示さず、今期の売上高は前期比4%減～1%増の610億-640億ドル、調整後1株利益は2.80～3.00(前年3.11)ドルと前回から据え置き。資本配分上の配当維持又は増加の方針を確認、営業利益率の向上等に努めるとした。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)	
株 価(米ドル)	23.81 (07/30)	実績PER	9.7 (倍)
52週高値(日付)	31.32 (24/08/02)	株価売上高比率	2.2 (倍)
52週安値(日付)	20.915 (25/04/09)	PBR	1.5 (倍)
時 価 総 額	1,354億ドル	税前配当利回り(%)	7.22 (直近年率)
	20兆2,390億円	配当成長率(%)	2.4 (過去1年間)
株価変化率(%)	-10.2 (過去6ヶ月間)	株主資本利益率(ROE)	8.6 (%)
	-22.0 (過去1年間)	株式ベータ	0.52 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	59,553	-41	1,058	-97	2,119	-93	0.37	1.65
2024/12	63,627	7	8,023	658	8,031	279	1.41	1.69
四半期業績								
2024/Q1	14,879	—	3,421	—	3,115	—	0.55	0.42
2025/Q1	13,715	-8	2,785	-19	2,967	-5	0.52	0.43

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。